

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年03月06日

計画の名称	群馬・長野における豊かな環境を活かした多様な広域周遊観光計画											
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	群馬県											
計画の目標	群馬県と長野県においては、広域交通ネットワークが上信越自動車道、長野自動車道、北陸新幹線、日本ロマンチック街道等で形成され、この周辺地域では善光寺や富岡製糸場など国内有数の観光地のほか、豊かな自然環境や温泉、歴史的資源などの観光資源を有し、ヘルスツーリズム、エコツーリズム、スポーツツーリズムなどの多様な観光コンテンツが提供されている。 これらの広域交通ネットワークと多様な観光コンテンツを生かし、周遊観光の推進や、都市部と中山間村との交流を支援する社会資本整備を進め、地域活性化を図る。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	5,530	A	5,530	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	【群馬県・長野県 共通目標】 観光入込客数2,211万人(H28)から2,335万人(H34)に増加(124万人(5.6%)の増加) 【群馬県・長野県 共通目標】 群馬県・長野県の計画区域における拠点施設の観光入込客数 (観光入込客数の増加割合) = (評価時点の観光入込客数 - H28の年間観光入込客数) / (H28の年間観光入込客数)	2211万人	万人	2335万人
2	【群馬県 単独目標】 観光入込客数792万人(H28)から841万人(H34)に増加(49万人(6.2%)の増加) 【群馬県 単独目標】 群馬県の計画区域における拠点施設の観光入込客数 (観光入込客数の増加割合) = (評価時点の観光入込客数 - H28の年間観光入込客数) / (H28の年間観光入込客数)	792万人	万人	841万人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
・全体事業費に占める効果促進事業費(提案事業)割合は、0%となる。・その他事項については、備考-1に記載。												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-001	道路	一般	群馬県	直接	群馬県	国道	改築	(国)144号 大前工区(1 0-A1-001)	現道拡幅 L=0.3km	嬭恋村						650	-	
	A11-002	道路	一般	群馬県	直接	群馬県	国道	改築	(国)299号 榎原工区(1 0-A1-002)	現道拡幅 L=0.3km	上野村							100	-
	A11-003	道路	一般	群馬県	直接	群馬県	国道	改築	(国)406号 萩生1期工 区(10-A1-003)	現道拡幅 L=0.4km	東吾妻町							120	-
	A11-004	道路	一般	群馬県	直接	群馬県	国道	改築	(国)406号 萩生2期工 区(10-A1-004)	現道拡幅 L=0.4km	東吾妻町							490	-
	A11-005	道路	一般	群馬県	直接	群馬県	国道	改築	(国)406号 大戸工区(1 0-A1-005)	現道拡幅 L=0.7km	東吾妻町							800	-
	A11-006	道路	一般	群馬県	直接	群馬県	国道	改築	(国)462号 坂原工区(1 0-A1-006)	バイパス L=1.2km	藤岡市							800	-

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-007	道路	一般	群馬県	直接	群馬県	国道	改築	(国)462号 柏木工区(10-A1-007)	現道拡幅 L=1.4km	神流町						300	-	
	A11-008	道路	一般	群馬県	直接	群馬県	都道府県道	改築	(主)渋川松井田線 榛名神社工区(10-A1-009)	現道拡幅 L=0.2km	高崎市						450	-	
	A11-009	道路	一般	群馬県	直接	群馬県	都道府県道	改築	(主)下仁田上野線 上野E工区(10-A1-010)	現道拡幅 L=0.7km	上野村						600	-	
	A11-010	道路	一般	群馬県	直接	群馬県	都道府県道	改築	(一)箕郷板鼻線 富岡工区(10-A1-011)	現道拡幅 L=0.9km	高崎市						270	-	
	A11-011	道路	一般	群馬県	直接	群馬県	都道府県道	改築	(一)下高尾小幡線 庭谷工区(10-A1-013)	バイパス L=1.1km	富岡市・甘楽町						400	-	
	A11-012	道路	一般	群馬県	直接	群馬県	都道府県道	改築	(一)大笹北軽井沢線 鎌原工区(10-A1-014)	現道拡幅 L=2.5km	嬭恋村						450	-	

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
広域連携事業	A11-013	街路	一般	群馬県	直接	群馬県	S街路	改築	(都)川内池線(10-A2-00 1)	現道拡幅 L=0.3km	高崎市						100	-	
												小計						5,530	
											合計						5,530		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
県土整備部道路整備課において評価を実施	令和7年3月
	公表の方法
	群馬県ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>新型コロナウイルス感染症拡大に伴う往來の制限等の影響により、観光入込客数の増加目標は達成できなかったものの、高規格幹線道路と観光拠点を結ぶアクセス道路の整備等により、拠点施設の一部では観光入込客数が増加しており、広域的周遊観光の活性化に寄与したと考えられる。</p> <p>(効果事例) A11-003(国)406号 荻生1期工区の現道拡幅(H31.3月完了)により、拠点施設「草津温泉」の観光入込客数がH28年からR5年までに12.4%増加した。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述)	<p>道路事業の完了により、広域観光周遊ルートとしてだけでなく、地元の生活道路として住民の安全な通行や生活環境の確保に寄与した。</p> <p>(効果事例) A11-011(一)下高尾小幡線 庭谷工区のバイパス整備(R4.3月開通)により、現道の大型車交通量が66.3%(開通前:386台/12h、開通後:130台/12h)減少し、生活道路の安全性が向上した。</p>
特記事項(今後の方針等)	
<p>未完了の事業については、本計画完了後も引き続き、社会資本整備総合交付金等を活用し、計画的に事業を推進する。</p> <p>(未完了事業) A11-004(国)406号 荻生2期工区、A11-005(国)406号 大戸工区、A11-009(主)下仁田上野線 上野E工区、A11-012(一)大笹北軽井沢線 鎌原工区</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	拠点施設における観光入込客数2,335万人（5.6%増）	
	最終目標値	2335万人
	最終実績値	2073万人
2	拠点施設における観光入込客数841万人（6.2%増）	
	最終目標値	841万人
	最終実績値	721万人